

6年1組英語科学習指導案

日時：令和5年7月5日（水）4時間目
場所：北舎2階 6年1組教室
授業者：古田 優介 Marcus WORRELL

1 単元名 Unit3 「Let's go to Italy」

2 単元について

本単元の貫く課題は、「行ってみたい国や地域と、その理由を伝え合おう。」である。

単元の前半では、自分たちが知りたいと思う5つの国のうち1つを自分が担当し、調べたり、伝えたりする活動を行う。

第1時から第4時では、単元の学習の目的を理解し、表現を習得することをねらう。そのため、自分が担当する国の魅力を紹介するにあたって使えるような表現や語句を学んだり、選び抜いたりしながら、Small Talk や教科書の内容を通して習得を図っていく。

単元の後半では、単元前半の活動を生かして、自分が本当に行ってみたい国について、調べたり、伝えたりする。そのため、他者に伝えるためにはどうしたらよいか、常に他者意識をもたせながら言語活動を行う。

3 本時について

（1）スモールトーク ～Greeting & Small talk～

Small talk では、HRT からの質問に答えたり、Keynote を視聴したりする言語活動を通して、習得してきた表現を使って、答えることができた喜びや、自分の考えが仲間に伝わった達成感を味わいながら、やり取りを楽しませる。

（2）課題づくり～Presentation～

本時で設定している5つの国は、単元の第1時において、社会の教科書やインターネットなどを使って「名前は知っているけど、詳しくは知らない。」や「聞いたことがない。」といった国を交流し、その中で児童が特に興味をもった国である。自分たちが知りたいと思う5つの国のうち1つを自分が担当し、紹介するにあたって相手に驚いて

もらいたいという願いをもたせた上で、課題化を図っていく。

（3）活動1 ～Activity1～

Activity 1 では、自分の調べた国とは異なる、指定した3～4名の児童で交流させる。ロイロノートで「Is that so?」カードを送り合わせ、自分が伝えた国に対して、相手に驚いてもらったり、興味をもってもらったりしたことを知ることで、伝えられた喜びを感じさせる。

（4）中間交流～Sharing Time～

中間交流～Sharing Time～では、仲間から受け取った「Is that so?」カードの内容を交流したり、仲間の伝え合っている姿を視聴したりする中で、より相手に驚きを与えたり、興味をもってもらったりするための方略や語句を学び、自分のプレゼン内容や伝え方を再構築させる。

（5）活動2 ～Activity2～

Activity 2 では、再構築したプレゼンを手に、スクランブル交流を行う。本時交流した仲間の中から1番「Is that so?」と思った仲間を最後に選ぶことを伝えることで、より多くの仲間と交流したいという意欲を高め、交流させる。

（6）まとめと振り返り～Comments～

ベスト「Is that so?」カードを送り合うことで、内容や表現、伝え方について個人で振り返りを行う。

同時に、本時や、本時までの活動を通して、十分に音声で慣れ親しんできた簡単な語句や、基本的な表現について、教科書の例文を参考に、ロイロノートを使用して書き、提出箱に提出する。児童が互いに読み合ったり、教師が評価項目に到達できているかを見取ったりすることで、次時以降に行うパフォーマンステスト（記録に残す評価を行う単位時間）では、「おおむね満足できる」「十分に満足できる」状況を達成できるようにする。

4 本時のねらい

自分が調べた国を伝えたり、相手が調べた国を知ったりする活動を通して、その国の魅力について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。【思考・判断・表現（指導に生かす評価）】

5 評価規準

自分の調べた国や、相手が調べた国について、その国の魅力を伝え合うと共に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、その国の魅力を書いている。【思考・判断・表現（指導に生かす評価）】

6 本時の展開（7/9）

学習過程	指導・援助
<p>(1) スモールトーク ~Greeting & Small talk~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題：食べ物 ・写真や HRT との対話を視聴したり，方略を使って対話したりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜目指す対話（例）＞</p> <p>S1: What do you want to eat? Oh good. Why? Yes, I do. I like Teriyaki.</p> <p>S2: I want to eat pizza. Because it's delicious. I like pizza. Do you like pizza? Which pizza do you like, Teriyaki or Margherita? Oh, me too. How about you?(What do you want to eat?)</p> </div> <p>(2) 課題づくり~Presentation~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unit を貫く課題「行ってみたい国や地域と，その理由を伝え合おう。」を再確認し，本時の課題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Today's aim：自分が調べた国について伝え，Is that so?と思わせよう。</p> </div> <p>(3) 活動 1 ~Activity1~ [グループ交流]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べた国を伝えたり，相手が調べた国の紹介を聞いたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜目指す対話（例）＞</p> <p>S1: Hello! Italy is a nice country. You can see the Colosseum. You can eat pizza. It's delicious.</p> <p>S2: Hello! Oh, That's good.</p> </div> <p>(4) 中間交流~Sharing Time~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間からもらった「Is that so?」カードの内容を学級で共有する。 ・プレゼンの内容をより詳しく説明する方略や語句を確認する。 ・表現内容が豊かな仲間の発表を聞き，より仲間から「Is that so?」と思ってもらうためのプレゼンになるように，自分の発話する内容や，プレゼンの内容を再構築する。 <p>(5) 活動 2 ~Activity2~ [スクランブル交流]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜目指す対話（例）＞</p> <p>S1: Hello! Do you know this country? OK. Italy is a nice country. You can see the Colosseum. Do you know this building? You can eat pizza. Do you like pizza? I recommend Margherita. It's delicious. Thank you for listening.</p> <p>S2: Hello! No, I don't. Yes, I do. Yes, I do. I like pizza. Oh, good! Thank you.</p> </div> <p>(6) まとめと振り返り~Comments~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートでベスト「Is that so?」を送り合うと同時に，HRT から送られたワークシートに，本時の活動で使用した言語材料を使って，自分の調べた国について書く。 	<p>→Keynote を使用し，視覚材料を用いながら，児童とやり取りをする。</p> <p>→HRT や ALT との対話において，方略を使って反応している姿を価値づける。</p> <p>《活動方法》 A ペア→Sharing Time→B ペア</p> <p>・ <u>Sharing Time</u></p> <p>英語表現が分からない時，「英語でどういえばよいのか分からないこと」を交流することで，英語で表現し，伝わった喜びを味わわせたり，コミュニケーションをとる場面で大切にしたいことの共通理解を図ったりする。</p> <p>→どんな国なのか知りたいという願いのもと，5つの国を選んだことを再度確認し，本時では自分の調べてきた国を紹介し，相手に興味を持ってもらったり驚いてもらったりするために，伝え合う活動を行うことを確認し，課題化を図る。</p> <p>《交流方法》 グループ交流→Sharing Time→スクランブル交流</p> <p>・ <u>活動 1 ~Activity1~ [グループ交流]</u></p> <p>→指定した3~4人グループの仲間と交流し，互いのプレゼンを聞き終わったらロイロノートで「Is that so?」カードを記入させ送り合わせる。</p> <p>・ <u>中間交流~Sharing Time~</u></p> <p>→仲間からもらった「Is that so?」カードの内容を交流することで，できることを伝えるだけでなく，そのできることに対する考えや様子を付け加えることで，より相手に驚いてもらえることを共有させたり，相手の反応を伺ったり，質問したりしながら進めている児童様子を紹介することで，自分が調べた国の内容がより詳しく伝えられることを確認したりすることで，自分のプレゼンを再構築する視点を与える。</p> <p>→HRT の作成したプレゼンだと，どこを再構築できるのかを考えさせる。</p> <p>→相手意識をもたせるために，“Do you know~?”で対話に引き込んだり，“Do you like~?”で相手の好みと合わせたりするとよいことを確認する。</p> <p>・ <u>活動 2 ~Activity2~ [スクランブル交流]</u></p> <p>→活動 2 の最後に，一番「Is that so?」と思った仲間を一人決めることを伝え，より多くの仲間へ「Is that so?」と思ってもらえるよう交流しようとする意欲を高める。</p> <p>→英語を使って楽しくコミュニケーションができたこときたことや，喜びを感じたことに気付いた姿を価値づける。</p> <p>→英語での表記に不安を感じる児童には，調べたり，名詞に関してはローマ字で表記してでも表現したりできるよう見届ける。</p> <p>→次時は「自分が行ってみたい国」についてのプレゼンを作り，交流していくことを伝える。</p>

第6学年 Unit3
『Let's go to Italy!』
(全9時間)

【単元のねらい】

- ・自分のことを伝えたり、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由について、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、書いたりすることができる。

本単元の評価規準

【知識及び技能】

【知識】[~ is ..., You can ~, It's ~.およびその関連語句など]について理解している。
【技能】行ってみたいおすすめ国や地域とその理由について、[~ is ..., You can ~, It's ~.およびその関連語句など]を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・行ってみたいおすすめ国や地域とその理由について、[~ is ..., You can ~, It's ~.およびその関連語句など]を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。
- ・自分のことを伝えたりするために、行ってみたいおすすめ国や地域とその理由について、例文を参考に書いている。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・行ってみたいおすすめ国や地域とその理由について、自分のことを伝えたり、相手の話している概要を捉えようとしていたりしている。
- ・自分のことを伝えたりするために、行ってみたいおすすめ国や地域とその理由について、例文を参考に書こうとしている。

場面や状況に応じて、表現を活用する段階

第9時 記録に残す評価：話すこと[やり取り]・書くこと【知識・技能】【思考・判断・表現】
(パフォーマンステスト)

ALTの好みに合わせた海外旅行先を、ラインナップの中から選び、おすすめしよう。

第8時 自分が行ってみたい国を選び、その国の魅力を伝えることができる。

【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】

自分が行ってみたい国や地域についてのプレゼンを作り、仲間に伝えよう。

第7時 自分が調べた国を伝えたり、相手が調べた国をよく知ったりする活動を通して、自分が伝えたい国について、十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

【思考・判断・表現】

自分が調べた国の魅力や、その理由を伝え合おう。

○写真やHRTとの対話を視聴したり、方略を使って対話したりする。

<目指す対話(例)>	
S1: What do you want to eat?	S2: I want to eat pizza.
Oh good. Why?	Because it's delicious. I like pizza. Do you like pizza?
Yes, I do.	Which pizza do you like, Teriyaki or Margherita?
I like Teriyaki.	Oh, me too. How about you?(What do you want to eat?)

○自分の調べた国を伝えたり、相手が調べた国の紹介を聞いたりする。

<目指す対話(例)>	
S1: Hello!	S2: Hello!
Do you know this country?	No, I don't.
OK. Italy is a nice country.	
You can see the Colosseum. Do you know this building?	Yes, I do.
You can eat pizza. Do you like pizza?	Yes, I do. I like pizza.
I recommend Margherita.	Oh, good!
It's delicious. Thank you for listening.	Thank you.

○ロイロノートで送られたワークシートに本時の活動で使った言語材料を使って、自分の調べた国について書く。

単元の学習の目的を理解し、表現を習得する段階

第6時 ロイロノートを使って、自分の担当する国を伝えるプレゼンを作ることができる。
【主体的に学習に取り組む態度】【思考・判断・表現】

自分の担当する国の魅力が、相手に伝わるようなプレゼンを作り、伝える練習をしよう。

○個々の目標や状態に応じて、学習の仕方を選択させ、プレゼンの完成と伝えるための練習に向かわせる。

○Let's Read and Writeの「わたしのせりふ」を参考に作るよう促す。

○プレゼンで使用する画像の配置やキーワードの使い方を考えることで、より相手に伝わりやすくなることを共有する。

○どのような順番で伝えたり、数ある魅力のうち、何を伝えたりすればより相手に興味を引いてもらえるかを考えながら練習する。

第5時 例を参考に、自分が担当する国の、見ることや食べることでできる有名なものを調べたり、4線に書き出したりできる。
【知識・技能】【思考・判断・表現】

自分が担当する国の魅力を調べて、書いてみよう。

○国をおすすめする際に使えそうな動作を表す語句を学習する。

○国の有名な食べ物の味を表現する際に使えそうな語句を学習する。

第4時 行ってみたい国を伝えるための基本的な表現や語句を知ったり、使ってたずね合ったりすることができる。
【知識・技能】【思考・判断・表現】

国や地域への旅行をすすめる表現や語句を知り、使ってみよう。

○国をおすすめする際に使えそうな動作を表す語句を学習する。

○国の有名な食べ物の味を表現する際に使えそうな語句を学習する。

○教科書を参考に、自分の担当する国についての興味を引き出す。

第3時 世界遺産などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深めようとしている。
【主体的に学習に取り組む態度】

世界の国々の世界遺産をもっと知り、色々な国に興味をもとう。

○様々な国の世界遺産を知り、行ってみたい世界遺産を伝え合う。

○英語の「語の役割」に注目しながら、「世界のすてき」を視聴する。

第1・2時 世界の有名な建物や食べ物についてのやり取りのおおその内容を理解することができる。
【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】

<単元を貫く課題>行ってみたい国や地域と、その理由を伝え合おう。

世界の有名な建物や食べ物についてのやり取りの内容を理解しよう。

○世界にはどんな国があるのか調べる。

○みんなが知りたがっている国はどこなのかをアンケート調査し、担当する国を決める。

見方・考え方を働かせている姿

◇ALTは何が好きなのかな。聞いてみて、一番魅力的なものを選んで伝えようかな。

◇今までのことを使って、今度は本当に行きたい国について、プレゼンを作ったり、伝えたりできそうだな。

◇なんて言ったらいいかわからなかったけど、聞いたらわかったぞ。次で使ってみよう。

◇会話の途中で相手の反応を伺ったり、質問したりしながら進めると、自分が調べた国の内容がより詳しく伝えられるな。

◇同じ国を調べた子は、こんな魅力を伝えているんだ。

◇〇〇さんは、こんな風に伝えているな。自分も真似してみよう。

◇自分のこんなところが、よかったんだ。次も頑張るぞ。

◇話したことを書くと、こうやって書けるんだな。

◇この写真を使ったり、この順番で伝えたりした方が、きっとみんなにも伝わるだろうな。

◇わかりやすくキーワードは書いておこうかな。

◇自分が担当する国では、こんなことができるんだな。

◇これを伝えると、きっとみんなはびっくりするだろうな。

◇自分もこの国について知らないことがいっぱいだったな。

◇can ~ の ~ に入る言葉を変えると、色々な魅力が伝えられそうだな。

◇食べ物も魅力の一つだな。

◇世界遺産も、その国を表す魅力の一つだな。

◇言葉にはいろいろな役割があるんだな。

◇世界にはたくさんの国があるんだな。

◇自分が担当する国は、どんな魅力があるのかな。みんなは何が知りたいのかな。

◇本当に行ってみたい国について、調べたり伝えたりしたいな。

Unit 3 を貫く課題

行ってみたい国や地域と、その理由を伝え合おう。